

人と人をつなぎ、暮らしを支え、まちの未来へ走り続ける公共交通。その最前線にいるのが、バスやタクシーの運転手です。運転手の一日や仕事への思いを通して、公共交通の役割と魅力、そしてこれからの地域の移動について考えます。



入社のきっかけ

県外出身の諏訪下さんは、建設関係の仕事で本市に赴任していました。仕事がひと段落ついたとき、本市に住む義父のすすめで乗車体験会に参加。もともと運転することが好きだったこともあり、そのまま面接を受け、入社しました。「大型二種免許の取得費用を会社が助成してくれることも、応募の決め手でした」と振り返ります。



仕事の魅力や働きがい

前職でダンプトラックの運転をしていた経験があることから、大型車両の運転にさほど抵抗はなかったという諏訪下さん。大型二種免許の取得から始め、入社2年目の現在は、路線バスやスクールバスを運転しています。「免許取得後は、バス停の場所を覚えるために1か月半程度、先輩が運転するバスに横乗りさせてもらいました。その後、今度は指導運転士の先輩に横についてもらって運転するようになり、しばらくして自分ひとりで運転するようになりました。日によって運転するバスの種類が異なるので楽しいですよ」と話してくれました。また、次第にお客さんとも顔なじみになり、「ありがとう」と声をかけられることも。「声をかけてもらえると嬉しいです」と笑顔で話してくれました。働きがいについて伺うと、「バスがなければ、移動に困る人がいます。バスは地域に欠かせない移動手段で、地域の皆さんの暮らしを支える仕事だと思っています」と気持ちを込めて答えてくれました。



■プロフィール

社名：熊野御坊南海バス株式会社

名前：諏訪下 久さん

経験年数：2年目

■1日のスケジュール例

7:10 出社、運転前点呼実施（健康状態の把握、車両点検、運行内容確認等）
乗務開始
10:40 休憩
12:30 乗務再開
14:25 休憩
15:45 乗務再開
17:55 乗務終了
運転後点呼実施（アルコール検査、車両点検、運行後報告等）、退社



今後の目標

「お客さんの命を預かる仕事なので、安全な運転を続けることが何よりも大切です。そのうえで、丁寧に運転することが腕の見せ所だと思っています。丁寧に運転することで、お客さんに快適に乗りいただけますし、バスを大切にすることにもつながります。先輩は安全で丁寧な運転をされていて、私もそんな運転が続けられるようになりたいと思っています」と力を込めて話す諏訪下さん。諏訪下さんや、同社の皆さんの仕事は、安全で快適な地域の移動を支えています。



しています！

する仲間を募集しています
大歓迎！



熊野御坊南海バス

中紀バス

☎22-1020



☎65-2222

